

いなべ市のお財布事情

市では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、市民の皆さんが納めた税金などがどのように使われているのかをお知らせしています。今回は市の財政状況や平成 30 年度決算をお伝えします。(グラフは表示単位未満四捨五入のため合計が合わない場合があります)

☎ 財政課 ☎ 86-7742

一般会計歳入・歳出

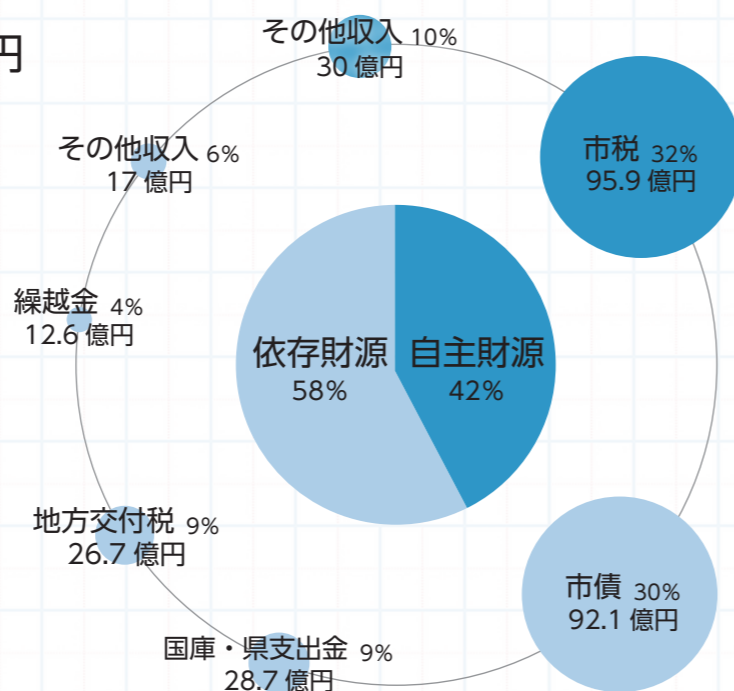
平成 30 年度の決算は実質収支が 16 億 4 千万円の黒字となりました。歳入および歳出ともに昨年度より増加しました。増加した主な科目は、歳入では市債、市税、繰越金および地方交付税、歳出は普通建設事業費と積立金

などです。建設事業費の財源として補助金や市債を活用し、また公債費(借金の返済)を抑制したことで黒字を出すことができました。

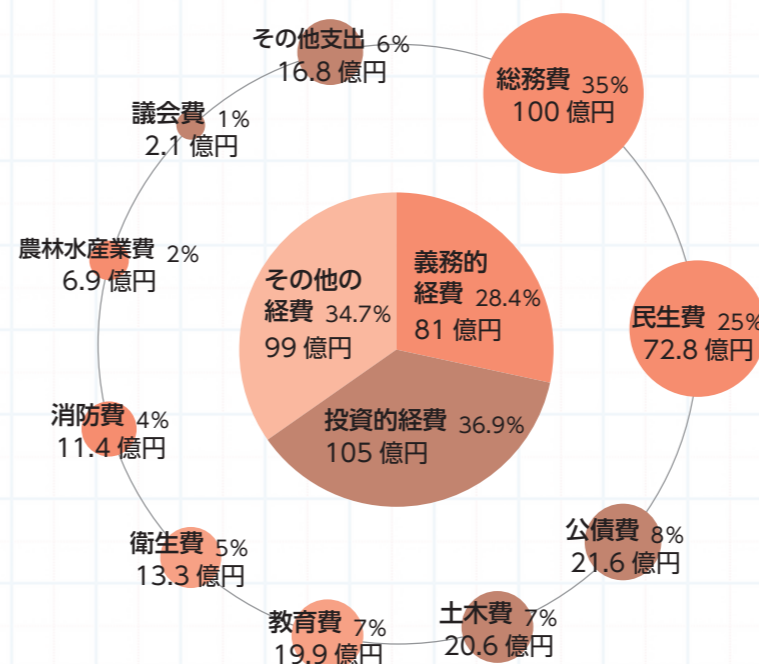


歳入 302 億 8,319 万円

- 市税**：市民税、固定資産税など皆さんに納めていただいた税金
- 市債**：市が国や銀行などから借りたお金
- 国庫・県支出金**：国や県からの補助金など
- 地方交付税**：自治体の財政力格差を解消するために国から交付されたお金
- 繰越金**：前年度の余剰金
- その他収入**：基金を取り崩したお金など
- 自主財源**：市税など市が独自に収入できる財源
- 依存財源**：地方交付税など市で賄うことができない財源



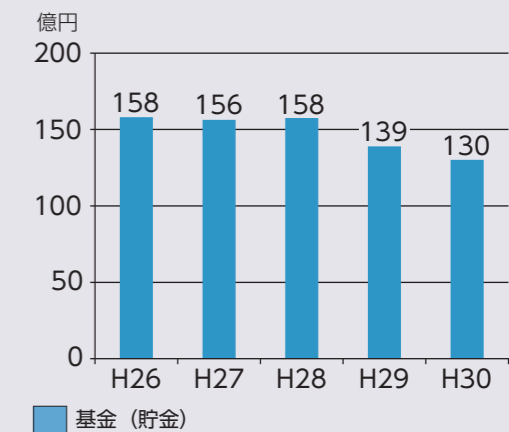
歳出 285 億 3,955 万円



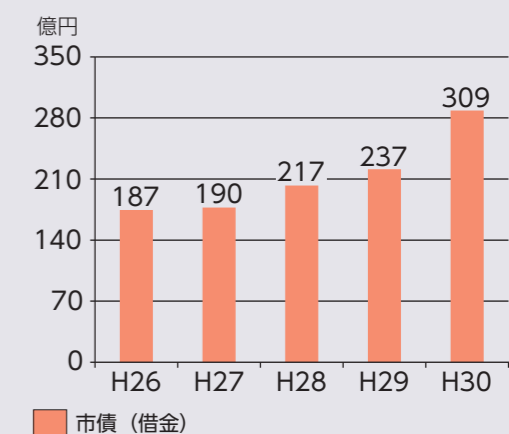
- 総務費**：庁舎の建設・維持管理や、広報、選挙などにかかったお金
- 民生費**：高齢者や障がい者、児童などの福祉にかかったお金
- 公債費**：市の借入金を返済した額
- 土木費**：道路の建設や維持管理などにかかったお金
- 教育費**：学校教育や社会教育などにかかったお金
- 衛生費**：健康診断やごみ処理などにかかったお金
- 消防費**：消防署の運営委託や消防団の活動にかかったお金
- 農林水産業費**：農業などをさかんにするためのお金
- 議会費**：議会運営にかかったお金
- その他支出**：財政調整基金などへの積立金
- 義務的経費**：人件費や児童・障がい者などを支援するための扶助費、市債の返済に要した経費
- 投資的経費**：道路や学校など社会資本の整備に要した経費
- その他の経費**：委託料や施設維持費、補助金、他会計繰出金などに要した経費

基金(貯金)と市債(借金)

一般会計の基金(貯金)残高は 130 億円となりました。財政調整基金は財源不足を補うために 6 億 4 千万円取り崩し、決算剰余金の半分にあたる 7 億円を積み立てた結果、50 億 7 千万円となりました。



一般会計の市債(借金)残高は 309 億円となりました。新庁舎建設事業に伴う市債の借入が増加したことで、前年度に比べて 71 億 7 千万円増加しました。



財政指標

1 【財政健全化判断比率】

自治体の財政状況が良好かどうかを示す指標です。4 つの指標があり、今のところいずれも危険な水準を大きく下回っており、健全な状況です。

市全体の財政状況を表す指標	いなべ市	【判定基準】	
		注意 🟡🟡🟡	危険 🟡🔴🔴
実質赤字比率(一般会計の赤字の割合)	🟢🟢🟢 赤字なし	12.94%~	20%~
連結実質赤字比率(すべての会計の赤字の割合)	🟢🟢🟢 赤字なし	17.94%~	30%~
実質公債費比率(年間の借金の返済額の比率)	🟢🟡🟡 7.2%	25.0%~	35%~
将来負担比率(将来に負担が見込まれる負債の割合)	🟢🟡🟡 25.3%	350%~	—

2 【経常収支比率】87.7% (県内平均 88.9%)

市税などの一般財源を義務的経費など必ず支払わなければならない経費にどれだけ充当したかを表す指標です。値が低いほど独自の政策のために使えるお金が多いことを示します。

3 【財政力指数】0.826 (県内平均 0.594)

地方公共団体の財政力を国への依存度で表す指標です。値が高いほど財源に余裕があるといえます。

主要事業

1 新庁舎建設

庁舎建設事業
76億2,060万円

平成28年度から始まった庁舎建設工事が完了し、令和元年5月から新庁舎での業務を開始しました。



2 広がる暮らしの安心

消防団施設整備事業
2,861万円

大安南分団のポンプ車更新と、大安西分団の詰所の設計を行いました。



購入したポンプ車

三岐鉄道支援事業
8,310万円

三岐鉄道三岐線・北勢線の運営支援を行いました。前年度に比べ利用者数が増加し、運行支援を始めてから過去2番目に多い利用者数となりました。



三岐鉄道北勢線

3 広がるこどもの未来

員弁東保育園整備事業
8億8,113万円

老朽化の進む員弁東保育園の建て替え工事を進め、平成31年4月1日に開園しました。新園舎では0歳児の受け入れが可能になりました。



新しくなった員弁東保育園

新規システム構築事業
9,441万円

市内小学校に電子黒板とタブレットを配備し、ICT機器を利用した授業を進めました。



電子黒板・タブレットを使った授業

4 広がる支え合い

地域力強化推進事業
441万円

地域の課題を自主的に解決へ導く体制づくりを進めるため、自治会単位で福祉委員会を設置することに取り組みました。



古田自治会福祉委員会

地域自殺対策事業
324万円

いなべ市いのちの相談電話事業を実施したほか、事業のさらなる周知のため自殺対策強化月間に啓発活動を行いました。



いのちの電話相談 (イメージ)

5 にぎわいが広がるまち

薬用植物栽培技術確立事業
400万円

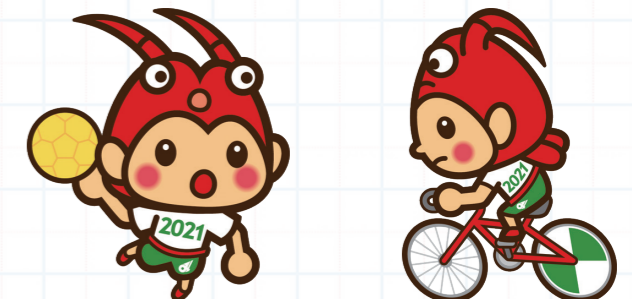
獣害に強い薬用植物(カノコソウ・ヨモギ)の試験栽培を東貝野地区で行いました。



カノコソウの試験栽培

三重とこわか国体推進事業
362万円

令和3年に開催される三重とこわか国体の準備を進めました。いなべ市では自転車競技とハンドボール競技が実施される予定です。



三重とこわか国体マスコットキャラクター とこまる

今後のいなべ市はどうか？

合併から15年が経過し、新庁舎建設をはじめとした大規模な施設整備が完了しました。合併前に建設した施設では老朽化が進んでいるものも多く、地元の皆さんと話し合いながら、今後の施設のあり方について検討を進めていきます。



水道事業の 決算報告

平成 30 年度は前年度に引き続き、将来的な経費削減を目指し、水道水を効率良く浄水・配水ができるようにする建設改良工事を行いました。(グラフは表示単位未満四捨五入のため合計が合わない場合があります)

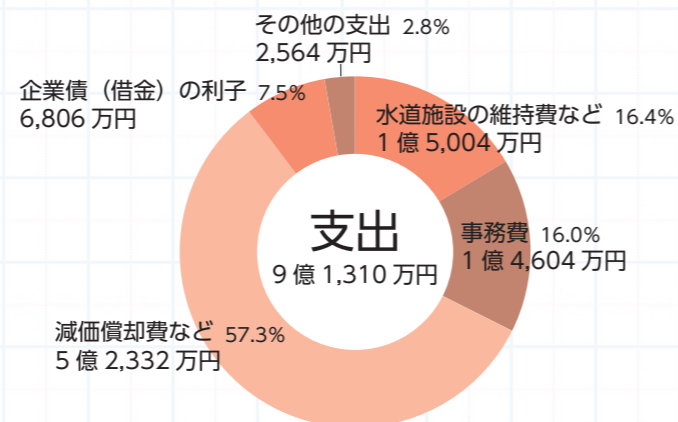
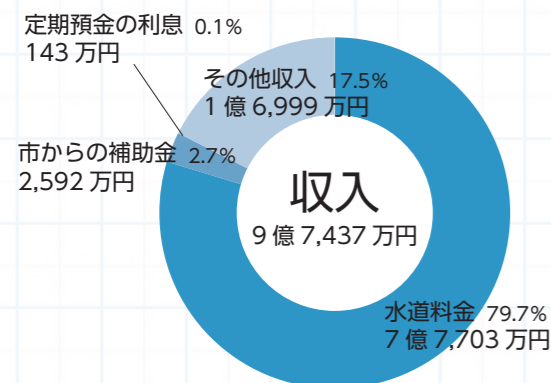
☎ 水道総務課 ☎ 72-2752

経営のしくみ

市の水道事業は、公営企業会計で、経営に必要な経費は、水道料金などの収入で賄う独立採算制です。ただし、消防活動の一環として行われる消火栓の設置・維持管理など一般行政としての性格を持つ経費は一般会計が負担しています。また、大規模な改修などの多額な工事にかかる経費は、企業債を借り入れます。

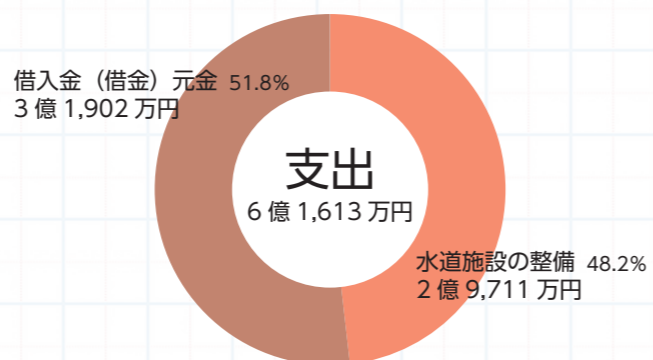
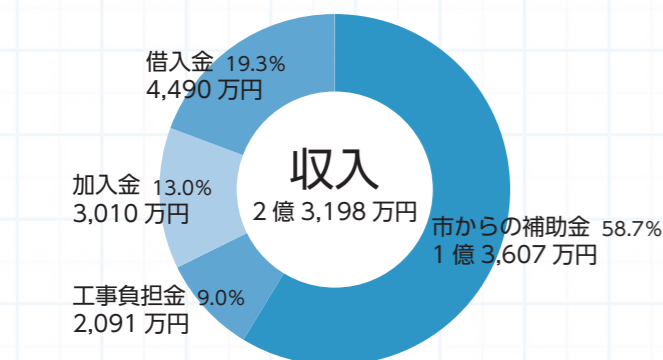
- 給水原価…約 146.5 円 / m³ (前年度約 138.5 円)
- 供給単価…約 146.1 円 / m³ (前年度約 146.1 円)
- 給水人口… 45,506 人 (前年比 42 人増)

収益的収入・支出 水道事業を運営するための財源と費用(税抜)



平成 30 年度の収益的収入 9億7,437万円 - 平成 30 年度の収益的支出 9億1,310万円 = 利益 6,127万円

資本的収入・支出 水道施設を整備するための財源と費用(税込)



平成 30 年度の資本的収入 2億3,198万円 - 平成 30 年度の資本的支出 6億1,613万円 = 差引額 - 3億8,415万円

※差引額は、毎年の収益積立金や留保資金(自己資金)で補填しています

平成 30 年度主要事業

大規模な地震により配水管が破損したときに、水の流出を防ぐため、主要な配水池に緊急遮断弁を設置しました。また老朽施設や機械設備の修繕および更新を行いました。

緊急遮断弁の設置

員弁第一配水池および阿下喜配水池に緊急遮断弁を設置しました。



阿下喜配水池緊急遮断弁

北勢町・藤原町の上水道施設機器更新

北勢町：阿下喜送水ポンプ整備 3 基、東貝野送水ポンプ整備 2 基、浄水場次亜タンク整備 2 基



◀東貝野送水ポンプ

藤原町：水位計更新(1号鼎配水池、南部1号配水池) 発電機整備更新(藤原浄水場、鼎加圧ポンプ場、本郷ポンプ場)

今後の水道事業はどうか？

高度経済成長期に整備された施設が老朽化しており、一度に多くの施設が耐用年数を迎えます。改修するためには莫大な資金が必要です。また、水道水の安定供給のため、地震などの災害に備えた設備の改良も急務です。

全国的に少子高齢化が進む中、いなべ市も例外ではなく、人口減少による水道料金収入の減少が懸念されます。収入を増やし、支出を減らすことにより、改修・改良資金を確保することが非常に重要になります。

